

## 9. 本市の高齢者福祉に関する課題

本市の高齢者を取り巻く状況、前期計画の成果、事前の調査（要支援・要介護を含む高齢者、市内介護サービス事業所、医療機関、不動産事業所等への調査を平成28年度に実施）や様々な分析をする中で見えてきた、高齢者福祉に関する課題を整理します。

### 1. 介護保険事業の充実

- ①介護人材の確保
- ②介護人材に対するスキルアップの支援体制の構築
- ③配食や移動支援など多様なサービスの充実
- ④家族介護者の負担が軽減になるサービスの充実
- ⑤一般介護予防事業の推進
- ⑥受益者負担の適正化
- ⑦地域ケア会議の活用による様々な抽出と共有 ⇒「4. 地域での支え合い」へ
- ⑧地域の拠点となる地域包括支援センターのさらなる充実⇒「4. 地域での支え合い」へ

#### 重要なポイント

- 介護人材の確保と質の向上
- 多様なニーズに対応した介護保険事業サービスの提供

### 2. 医療と介護の連携

- ①「看取り」「終末期ケア」も視野に入れた「切れ目のない在宅療養」の支援体制の構築
- ②在宅療養に関する調整、相談窓口体制の充実
- ③訪問医療、訪問歯科、訪問薬剤師の充実とかかりつけ医、かかりつけ歯科、かかりつけ薬剤師の定着化
- ④医療機関の連携による24時間365日在宅介護・医療サービス提供の充実
- ⑤医療と介護の情報共有体制の明確化と相互コミュニケーションの円滑化

#### 重要なポイント

- 終末期まで切れ目のない在宅療養の支援体制の充実
- 在宅療養に関する有機的なネットワークの整備

### 3. 認知症施策の充実

- ① 早期診断・治療を実現するための支援機関の連携体制の強化
- ② 若年性認知症も含めた認知症の相談・支援体制の充実
- ③ 認知症を気軽に自己チェックし、早期診断・治療につなげる仕掛けの充実
- ④ 認知症への理解を深めるための効果的な普及・啓発の推進
- ⑤ 学校教育等における認知症サポーター養成講座の開催促進
- ⑥ 認知症サポーターに向けた「支援の担い手」としての活躍の機会の創出
- ⑦ 家族介護者への支援の取組みの推進
- ⑧ 徘徊等の行動がある認知症高齢者への取組み強化

#### 重要なポイント

認知症の相談、早期診断・治療等総合的な支援体制の確立

認知症の理解促進と地域全体で本人及び家族介護者を支える体制の充実

### 4. 地域包括支援センターの役割強化と地域での支え合いの充実

- ① 地域の核となる地域包括支援センターの更なる充実
- ② あらゆる地域の課題に対応できる総合相談窓口の充実
- ③ 地域ケア会議の活用による様々な課題の抽出と施策への展開
- ④ 高齢者が地域活動に参加・交流・活躍できる場や機会の創出
- ⑤ 高齢者を含めた地域を支える人材の発掘
- ⑥ 孤立しがちな単身高齢者や日中独居高齢者の支援
- ⑦ 高齢者の安全安心、孤立を防ぐ地域の場づくり、支え合いの充実
- ⑧ 地域の力と特性を活かした見守り支援体制の構築及び定着

#### 重要なポイント

地域の核となる地域包括支援センターの更なる充実

地域活動で生きがい創出と担い手や人材の発掘

生活支援コーディネーター等を活用した地域での支え合い体制の充実

## 5. 健康の維持と地域での生活を支える多様な支援

- ①身体機能の維持や健康寿命の延伸のため、高齢期の健康づくりの推進
- ②高齢者の就労や社会参加の取組を支援
- ③自立した生活を継続するための多様な生活支援サービスの提供
- ④高齢者の居住支援策の推進
- ⑤高齢者の権利を守るための制度等の周知と利用促進

### **重要なポイント**

高齢期の健康づくり、就労や社会参加促進による自立の支援

居住支援策や権利擁護の制度の充実による生活の支援